

### 1 自己評価及び外部評価結果

#### 【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	29
法人名	財団法人信貴山病院
事業所名	グループホーム はあとの杜 田原本
所在地	奈良県磯城郡田原本町大字小阪64-3
自己評価作成日	平成24年11月15日
評価結果市町村受理日	

※事業所の基本情報は、公表センターページで検索し、閲覧してください。(↓このURLをクリック)

基本情報リンク先 [vc](#)

#### 【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	特定非営利活動法人カリア
所在地	大阪府泉佐野市泉ヶ丘四丁目4番33号
訪問調査日	平成24年11月29日
評価結果決定日	平成24年12月27日

#### 【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

運営主体が病院であり、様々な医療・介護サービス等の施設も運営しておりますので、グループとして迅速に連携をとって、その場、その時に応じた最良の医療・介護サービスを利用者様へ提供できる施設です。また利用者様に「第二の我が家」と思ってもらえるように、スタッフの接遇・教育には力を入れております。

#### 【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

・入居者の生活の質や、提供サービスの質の向上を常に目指し、管理者、スタッフが共にレベルアップを図りたいという意識が高く、入居者や家族、関係機関の意向に耳を傾け、きめ細やかに対応しておられます。また、平成23年3月に開設したグループホームではありますが、積極的に自治会や近隣住民との交流に尽力されています。今後も、地域に溶け込むホームとなる事に期待がもてます。  
 ・同一法人のデイケアへ希望者は週5日利用出来ます。ホームの中だけで過ごす事なく、外部者との交流機会や、介護予防の機会があり、心身機能の維持・向上が図れます。

#### V. サービスの成果に関する項目(アウトカム項目) ※項目No.1~55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します

項目	取り組みの成果	項目	取り組みの成果
56 職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (参考項目:23,24,25)	○ 1. ほぼ全ての利用者の 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんど掴んでいない	63 職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています (参考項目:9,10,19)	○ 1. ほぼ全ての家族と 2. 家族の2/3くらいと 3. 家族の1/3くらいと 4. ほとんどできていない
57 利用者職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (参考項目:18,38)	○ 1. 毎日ある 2. 数日に1回程度ある 3. たまにある 4. ほとんどない	64 通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (参考項目:2,20)	○ 1. ほぼ毎日のように 2. 数日に1回程度 3. たまに 4. ほとんどない
58 利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (参考項目:38)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	65 運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている (参考項目:4)	○ 1. 大いに増えている 2. 少しずつ増えている 3. あまり増えていない 4. 全くない
59 利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている (参考項目:36,37)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	66 職員は、生き生きと働いている (参考項目:11,12)	○ 1. ほぼ全ての職員が 2. 職員の2/3くらいが 3. 職員の1/3くらいが 4. ほとんどいない
60 利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目:49)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	67 職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
61 利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている (参考項目:30,31)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	68 職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○ 1. ほぼ全ての家族等が 2. 家族等の2/3くらいが 3. 家族等の1/3くらいが 4. ほとんどできていない
62 利用者は、その時々々の状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らしている (参考項目:28)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない		

ユニット名 ( )

## 自己評価および外部評価結果

〔セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。〕

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>I. 理念に基づく運営</b>					
1	(1)	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	グループ全体で共有し実践しています	玄関に理念を掲示。また、個々の職員の名札入れに携帯し、常に意識付けをされています。また、理念に基づく行動規範もあり、理念の実践に心掛けています。	
2	(2)	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	近隣スーパーや自治会に、個別にいかれています	地域の子供会に参加したり、中学校の学生が琴の演奏に来られたり、地域交流がなされています。また、近隣のスーパーへの買い物や利用者の方の自治会への参加など、日常的な交流があります。	
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	推進会議等を利用し、説明・理解は随時しています		
4	(3)	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	会議での意見・希望等は、必ず回答し、出来る限りの改善はすぐ実行しています	2か月に1回開催。毎回、全入居者家族、行政担当者、地域代表へ案内を出し、多くの参加を呼び掛けておられます。会議での、意見や提案など、積極的に受け入れサービス向上に取り組んでおられます。	入居者やその家族の意見を聞き、サービス向上に努めておられます。入居者、家族や、関係者と共に、より良いホームづくりをされていると感じました。更なる向上に期待しています。
5	(4)	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くよう取り組んでいる	推進会議の参加依頼はもちろんの事、町の連絡会参加依頼にもすべて参加、空き状況や相談事も適宜できています	日頃から、行政担当者と連絡を取り合っており、地域の情勢を聞いたり、ホームの現状報告するなどし、連携が取れています。また、行政の企画する会議参加や、入居相談・受け入れなどもなされています。	
6	(5)	○身体拘束をしないケアの実践 代表者および全ての職員が「介指指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	玄関の施錠は、近くに交通量が多い国道があり、法人本部指示により常時施錠しています	近くに、交通量の多い国道があり、入居者の安全を考慮し、玄関は施錠しています。現実的に施錠せざるを得ない状況ですが、身体拘束をしないケアについて、個々の職員が理解してケアに取り組んでおられます。	
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	虐待の外部研修等も管理者は受けて、常にスタッフには伝達・指導しています		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	現在自立支援を活用されている利用者様もおられ、支援を続けています		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	当事業所では何時間かかってもご納得されるまでしっかりせつめいしている為、現在後からのクレームは一件もありません		
10	(6)	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	面会者様の面会簿を改良し、迅速にご返答できるようにしています	面会時に、職員が積極的に家族と関わり、意見や要望が言いやすい雰囲気を作るよう、職員の育成に取り組まれています。また、面会簿に意見欄を設けるなど工夫されています。家族の要望で、行事の写真や、広報誌など自由に閲覧できる様にしたりし、迅速に対応しています。	
11	(7)	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	グループホーム会議やカンファレンスは、定期的に機会もうけて、実施しています	月1回定期的に会議が設けられ、管理者と職員がホーム運営について話し合いがもたれています。議題は、各々の職員の意見を進められています。	スタッフが主体となってホームを作っていく事を目指しておられます。今後も、継続して、管理者、職員が一体となりホーム運営をして頂ける事に期待します。
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境条件の整備に努めている	各担当業務を平等に均等分配し、その実行状況や成果を賞与に反映させています		
13		○職員を育てる取り組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	全て施設の経費で、最低年一回は外部研修に参加するようにしている。また研修後はOJTをして、全員のスキルアップにつなげています		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	グループ外の事業者様との相互訪問は出来ていますが、勉強会等は出来ていません		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>Ⅱ. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスを導入する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	見慣れたスタッフが出来るだけそばにるように、正職員だけで運営できるようにしています		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスを導入する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	家族様へは随時相談してもらえるように、24時間管理者への直通ダイヤルをお伝えしています		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスを導入する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	その都度、カンファレンスを実施しています		
18		○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	常に同じ食事を同じ場所でいただき、暮らしを共にする関係を築いています		
19		○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	推進会議でも個別に家族様と今後の方針等を話し合っています		
20	(8)	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	利用料を振込ではなく、現金持参を家族様にお願ひし、疎遠にならないようご協力をいただいています	家族が疎遠にならない様、利用料の支払いは現金持参でして頂く様にされています。また、入居者の過去にしていた事などを参考に、畑づくりをしたり、神社に初詣に行ったりしておられます。	
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せず利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	個別の支援と、全体の支援を使い分け実施しています		



自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	退所後の相談はもちろんの事、家族様の許可があれば、退所後も面会に伺っています		
<b>Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>					
23	(9)	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	個別に趣味や希望を把握し、個別レクを行っています	入居前に希望や意向の把握に努めておられます。また、入居後も、家族から聞き取ったり、入居者との日々の会話から、希望や意向などを聞き取り、ケアに反映しておられます。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	インテーク時、出来る限りの情報は頂いています		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	定期的にかンファレンスを行っています		
26	(10)	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	担当者だけでなく、全スタッフで常に話し合うようにしています	入居者の生活の様子や、家族の面会時に聞き取りなどから、情報を集め、ケアの在り方などを話し合い、きめ細やかに計画を立て、ケース会議で、話し合いを行っています。	
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	全書式、追記があれば全スタッフ確認できるようにシステム化しています		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	安心、安全が保たれるのであれば、即時実行して支援しています(買い物や食事等)		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	あまりまだ出来ていません		
30	(11)	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	ご本人様、又家族様の希望を最優先し、自由に選択・決定していただいています	歯科医や内科など協力病院もありますが、本人や家族の希望する医療機関で受診や往診が受けられるように支援されています。医師・看護師との連携を強化し、本人や家族の安心と信頼につながっています。	
31		○看護職との協働 介護職は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	週一回の定期訪問や、24時間随時相談しています		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、又、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	当法人母体が病院なので、他の医療施設との連携はかなり取れています		
33	(12)	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所のできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	当法人等、関係部署へ常に相談し家人様と話し合いをしています	重度化した場合や、終末期の在り方について、入所時から説明や希望を聞き、病院やかかりつけ医との連携を図りながら支援されています。普段から家族と関わり、重度化したり、終末期には、家族、主治医と十分話し合いを重ね、事業所の出来る範囲で対応されています。	
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	緊急連絡の把握・実施の徹底はできているが、全体的なスキルアップは今後の課題です		
35	(13)	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	年2回の訓練・教育しか出来ていません	年に2回、昼夜想定避難訓練を実施しています。備蓄については、母体となる法人が一括管理されています。	自治会を始めとする地域住民の理解と協力を頂きながら、災害対策についても取り組んでいきたいと、今後の方針をお持ちです。今後の取組に期待しています。

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b>					
36	(14)	○一人ひとりの尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	外部講師による、接遇研修は必須で受講して、常に意識しています	1人1人の言葉掛けを大切にし、制止する様な声かけをしないよう言葉の内容や語調にも配慮しています。法人全体での、外部から講師を手配し、接遇研修にも取り組み、職員の意識付けがなされています。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	過度の促し、声掛けはしないよう心がけています		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	全てとはいかないですが、生活リズムを出来るだけ壊さないよう、心がけています		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	毛染めや化粧品もスタッフと一緒にしています		
40	(15)	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	常時出来ています	入居者の希望を聞いたり、その日の会話の中で、話題となった料理を調理し、入居者ができる事、やりたい事を尊重しながら楽しく食事が出来るように工夫されています。食事中も楽しく会話がはずんでいました。	
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	管理栄養士によるチェック体制を行っています		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	1日4回、個人にあった道具を利用し出来ています		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
43	(16)	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている	最善の声掛け、過度のオムツ使用は一切していません	個別の排泄チェック表を作り利用者1人1人の排泄パターンを把握し、トイレでの排泄を大切に支援が行なわれています。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	訪問看護師と常に連携を取って対応しています		
45	(17)	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々にそった支援をしている	日課にそってしているのが言所です	入居者の希望や体調に合わせて、個々に応じた入浴の支援を実践されています。外出先のデイケア施設での入浴や温泉も楽しんでいます。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	ご自分のペース自由にしています		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	母体が病院ですので、主治医とすぐ連携し症状変化には対応できています		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	個別しくとして取り組んでいます		
49	(18)	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。又、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	その日の希望にはまだまだ添えていません	週に5日、希望や体調に合わせて、同法人のデイケア施設に外出されています。また直近のスーパーに買い物や散歩にも出掛けています。	



自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	預かり管理の人や、個人所持の方も出来るだけ希望にそえるようにしています		
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	基本的にご自由にさせていただいています		
52	(19)	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	特に混乱を招くような事は現在ありません。季節感等は、ポスターを貼ったり工夫しています	共用の空間はゆとりある間取りで、吹き抜けの天窓からは暖かな日差しが心地よく、穏やかに過ごされています。入居者が分かりやすいように表示を大きく簡潔にされており、使いやすく、生活しやすいような工夫が見られます。	
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	座席等の配慮は常にしています		
54	(20)	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	危険がなければ、自由にさせていただいています。又馴染みの物も持参していただいています。	居室には今まで使い慣れた物や、好みの物、思い出の品々を持ち込み、落ち着いて過ごせるように支援されています。	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	表示等、出来るだけご自分で考えていただき、行動できる配慮をしています		